

教 科： 国語

科 目： 言語文化

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 3 5 7 組：明正） （ 2 4 6 組：大谷）

使用教科書：（ 数研出版 言語文化

）

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】語彙、漢字、基礎知識を習得する

【思考力、判断力、表現力等】四技能を伸ばし、思考力・判断力・表現力を伸ばす

【学びに向かう力、人間性等】課題に対する主体的な取り組みができるようにする

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。自分の思いや考えを深めることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 説話 【知識及び技能】 文語のきまり 古典特有の表現 【思考力、判断力、表現力等】 内容・構成・展開を捉える 【学びに向かう力、人間性等】 兄と僧の心情を捉える 自分の考えを説明する	・指導事項 歴史的仮名遣い 50音図 ・教材 「宇治拾遺物語」兄のそら寝 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 文語のきまり、古典特有の表現について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 内容・構成・展開を捉えている 【学びに向かう力、人間性等】 兄と僧の心情を捉える 自分の考えを説明しようとしている	○	○	○	7
	単元 近代小説(一) 【知識及び技能】文脈から意味を読み取る 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れたものの見方・考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】自分の考えを文章にする	・指導事項 主人公が到達した死生観について理解を深め、自身の考えを表現する ・教材 城の崎にて ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】文脈から意味を読み取っている 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れたものの見方・考え方を捉え、内容を解釈している 【学びに向かう力、人間性等】自分の考えを文章にしようとしている	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	単元 物語 【知識及び技能】文語のきまり 古典特有の表現 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深める 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとする	・指導事項 品詞 動詞の活用 ・教材 なよ竹のかぐや姫（竹取物語） ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】文語のきまり、古典特有の表現について理解している 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容を解釈している 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しもうとしている	○	○	○	8
	単元 現代小説 【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】作品の解釈をふまえ、「言葉は生きもの」ということについて自分の考えを表現する 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとする	・指導事項 「言葉は生き物」という認識に立ち、竹取物語との比べ読みをする ・教材 さらば！ ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】作品の解釈をふまえ、「言葉は生きもの」ということについて自分の考えを表現する 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとしている	○	○	○	3
							○	○		1
2	単元 歌物語 【知識及び技能】 文語のきまり 古文特有の表現 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や展開、表現の特色を理解することができる 【学びに向かう力、人間性等】第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている	・指導事項 物語の背景 形容詞 形容動詞 ・教材 芥川「伊勢物語」 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】 文語のきまり、古文特有の表現 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や展開、表現の特色を理解することができる 【学びに向かう力、人間性等】第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている	○	○	○	8
	単元 詩歌 【知識及び技能】作品中の語句について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】印象に残った歌を選び鑑賞文を書く 情景や心情の描写を取り入れた短歌を作る 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとする	・指導事項 歌の修辞 ・教材 短歌 ・一人1 台端末の活用 等			○	【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深めている 【思考力、判断力、表現力等】印象に残った歌を選び鑑賞文を書く 情景や心情の描写を取り入れた短歌を作る 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとしている	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

学 期	単元 軍記物語 【知識及び技能】文語のきまり 古文特有の表現 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】「義仲・巴の関係」「義仲・兼平の関係」について理解しようとしている	・指導事項 和漢混交文 作品の背景 ・教材 木曾の最期「平家物語」 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】文語のきまり、古文特有の表現について理解している	○	○	○	9
	単元 戦争小説 【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しもうとする	・指導事項 戦争と向き合う文学である本作品と軍記物語の比べ読み ・教材 沖縄の手記から ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深める	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
3 学 期	単元 入門 故事 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係について理解する 【思考力、判断力、表現力等】作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める 【学びに向かう力、人間性等】故事成語の用例を調べて発表する	・指導事項 訓読のきまり ・教材 入門 故事 ・一人1台端末の活用 等			○	【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係について理解している	○	○	○	10
	単元 近代小説 【知識及び技能】作品中の語句について、それらの文化的背景について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる 【学びに向かう力、人間性等】人間が虎になるという設定について考察しようとしている	・指導事項 「人虎伝」との比べ読み 中国文学と日本文学の接点 ・教材 山月記 ・一人1台端末の活用 等			○	単元 戦争小説	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
										合計
										70

教科・科目		国語・論理国語					単位数	2 単位	
							対象学年	3 学年	
担当者	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	檜野	檜野	小西	檜野	小西	檜野	小西		
教科書		『第一学習社 論理国語』							
補助教材		『キーワード漢字2700』『高校生必修語彙ノート』							
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		語彙、漢字、慣用的表現、基礎知識を習得する。		四技能を伸ばし、思考力・判断力・表現力を伸ばす。		様々な課題に対する主体的な取り組みができるようにする。			
科目の目標		社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の国語の運用に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考えたり、構成的に書く力を伸ばすとともに、様々なジャンルの考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思考をを広げたり深めたりすることができるようにする。		国語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって国語に親しみ自己を向上させ、我が国の国語の担い手としての自覚を深め、国語により他者や社会に関わる態度を養う。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	目に見える制度と見えない制度	知 本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解できるようにする。		文章読解	知 本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めたか。		〇〇〇	13	
		思 文章表現上の工夫を理解し主張を捉え、制度について新たな観点から自分の考えを持てるようにする。			思 文章表現上の工夫を理解し主張を捉え、制度について新たな観点から自分の考えを持ったか。				
		学 評論を粘り強く読んで内容を捉え、「制度」の役割などについて、積極的に説明できるようにする。			態 評論を粘り強く読んで内容を捉え、「制度」の役割などについて、積極的に説明できたか。				
	中間考查						〇〇		
	いのちのかたち	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。		文章読解	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。		〇〇〇	13	
思 論展開を捉え、筆者の抱く「いのち」の概念について考察する。		思 論展開を捉え、筆者の抱く「いのち」の概念について考察できているか。							
		学 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。			態 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深めることができているか。				
	期末考查						〇〇		

2 学期	「である」こと と「する」こと	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	文章読解	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。	〇〇〇	18
		思 具体例と主張の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。		思 具体例と主張の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深めることができるか。		
		学 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。		態 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深めることができるか。		
	中間考査				〇〇	
	現代日本の開化	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	文章読解	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。	〇〇〇	18
		思 内容を的確に捉え、論点を明確にし ながら要旨を把握する。		思 内容を的確に捉え、論点を明確にし ながら要旨を把握することができるか。		
		学 文章の内容や解釈を評価し、自分の 考えを深める。		態 文章の内容や解釈を評価し、自分の 考えを深めることができるか。		
	期末考査				〇〇	
3 学期	現代日本の開化	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	文章読解	知 語句の量を増やし、語彙を豊かにしているか。	〇〇〇	8
		思 内容を的確に捉え、論点を明確にし ながら要旨を把握する。		思 内容を的確に捉え、論点を明確にし ながら要旨を把握することができるか。		
		学 文章の内容や解釈を評価し、自分の 考えを深める。		態 文章の内容や解釈を評価し、自分の 考えを深めることができるか。		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		現代文演習					単位数		2 単位	
							対象学年		3 学年	
担当者	C 帯		W帯							
	井芹、大谷、明正		井芹							
教科書		プログレス現代文完成編 三訂版								
補助教材		現代文キーワード読解								
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		演習を重ね、大学入試において一般受験で現代文を使用する生徒も入試問題に対応できる力をつける。 そのために語彙力・漢字の力の底上げをする。			意見を書き込んだり話し合ったりする機会を授業中に設け、本文に書かれていることに対する意見をクラスメイトと共有し、問題解決能力を養う。			課題の完成度を高くし、提出期限に間に合わせる。授業中に級友や教員と意見交換を活発にできるようになる。		
科目の目標		問題演習を通して随想から筆者のものの見方・考え方・感じ方を読み取り、日常を超えたものの普遍性・精神性について思考を深める。評論の要旨を捉えて構成を把握し、内容を的確に理解する。小説の登場人物の人物像・心情の推移を把握し、特色のある表現を読み味わうなどの力を養う。			問題演習を通して作品の構成を理解して小説を読み味わい、人生、社会について思索を深める。客観的記述と主観的記述を明確に区別し、論理展開を的確に捉えるなどの力を養う。			単語の勉強や要約ノートを使用しての復習の習慣を確立し、自ら主体的に学ぶ態度を養う。また、その結果語彙力と読解力・構成力を身につける。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	問題番号 1・2	知 テーマ学習・語彙力の向上			・問題演習 ・解説、意見交換 ・小テスト、復習	知 小テストの得点・		〇〇〇	5	
		思 問題演習・話し合い				思 演習の解答・プリント				
		学 復習として要約文作成				態 要約ノート提出				
	問題番号 3・4	知 テーマ学習・語彙力の向上			・問題演習 ・解説、意見交換 ・小テスト、復習	知 小テストの得点・		〇〇〇	7	
		思 問題演習・話し合い				思 演習の解答・プリント				
		学 復習として要約文作成				態 要約ノート提出				
	中間考査								〇〇	
	問題番号 5～7	知 テーマ学習・語彙力の向上			・問題演習 ・解説、意見交換 ・小テスト、復習	知 小テストの得点・		〇〇〇	7	
		思 問題演習・話し合い				思 演習の解答・プリント				
		学 復習として要約文作成				態 要約ノート提出				
	問題番号 8～10	知 テーマ学習・語彙力の向上			・問題演習 ・解説、意見交換 ・小テスト、復習	知 小テストの得点・		〇〇〇	7	
		思 問題演習・話し合い				思 演習の解答・プリント				
		学 復習として要約文作成				態 要約ノート提出				
	期末考査								〇〇	

2 学期	問題番号 1 1 ・ 1 2	知 テーマ学習・語彙力の向上	・ 問題演習 ・ 解説、意見交換 ・ 小テスト、復習	知 小テストの得点・	〇〇〇	7
		思 問題演習・話し合い		思 演習の解答・プリント		
		学 復習として要約文作成		態 要約ノート提出		
	問題番号 1 3 ・ 1 4	知 テーマ学習・語彙力の向上	・ 問題演習 ・ 解説、意見交換 ・ 小テスト、復習	知 小テストの得点・	〇〇〇	9
		思 問題演習・話し合い		思 演習の解答・プリント		
		学 復習として要約文作成		態 要約ノート提出		
	中間考査				〇〇	
	問題番号 1 5 ～ 1 7	知 テーマ学習・語彙力の向上	・ 問題演習 ・ 解説、意見交換 ・ 小テスト、復習	知 小テストの得点・	〇〇〇	8
		思 問題演習・話し合い		思 演習の解答・プリント		
		学 復習として要約文作成		態 要約ノート提出		
	問題番号 1 8 ・ 1 9	知 テーマ学習・語彙力の向上	・ 問題演習 ・ 解説、意見交換 ・ 小テスト、復習	知 小テストの得点・	〇〇〇	9
		思 問題演習・話し合い		思 演習の解答・プリント		
		学 復習として要約文作成		態 要約ノート提出		
	期末考査				〇〇	
3 学期	質問対応	知		知	〇〇〇	6
		思		思		
		学		態		
	質問対応	知		知	〇〇〇	5
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		国語・古典探究演習					単位数		2 単位		
							対象学年		3 学年		
担当者		A									
		太田									
教科書		古典探究（文英堂）									
補助教材		古文上達基礎編読解と演習45、体系古典文法、体系古典文法演習ノート、古文単語315									
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		古典を読むために必要な語句の量を増やし我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めながら、語彙を豊かにする。			古典の物語を通して先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、深く共感する力や豊かに想像する力を伸ばす。			古典に親しむことで自己を向上させ、言葉が持っている価値への理解を深めるとともに、生涯にわたって言語を学ぼうとする態度を養う。			
科目の目標		毎授業で小テストを実施し、重要語句の意味や読み、品詞への理解を深めることで語彙を豊かにし作品の理解に繋げる。			問題演習ごとに文学史についても触れながらものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で解釈を深めさせる。			単元ごとに課題を設定することで見通しを持って学習に取り組む姿勢づくりを促す。			
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数	
1 学期	問題演習	知 古典文法(用言)を理解することができる。			小テスト、入試問題演習、提出物、口頭課題、授業態度	知 古典文法(用言)を理解することができたか。		〇〇〇	7		
		思 品詞に注意して、現代語訳ができる。				思 品詞に注意して、現代語訳ができたか。					
		学 人物を的確に捉え自己の意見を表現できる。				態 意見を表現する活動を通して、自身の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。					
	中間考査										
	問題演習	知 重要古文単語を覚えることができる。			小テスト、入試問題演習、提出物、口頭課題、授業態度	知 重要古文単語を覚えることができたか。		〇〇〇	14		
		思 品詞に注意して、現代語訳ができる。				思 品詞に注意して、現代語訳ができたか。					
		学 情景を的確に捉え、自己の意見を表現できる。				態 意見を表現する活動を通して、自己の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。					
期末考査								〇〇〇			

2 学期	問題演習	知 古典文法(助動詞)を理解することができる。	小テスト、入試問題演習、提出物、口頭課題、授業態度	知 古典文法(助動詞)を理解することができたか。	〇〇〇	6
		思 辞典や注釈を活用し、内容をつかむことができる。		思 辞典や注釈を活用し、内容をつかむことができたか。		
		学 心情を的確に捉え、自己の意見を表現できる。		態 意見を表現する活動を通して、自己の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。		
	中間考査					
	問題演習	知 古典文法(敬語)を理解することができる。	小テスト、入試問題演習、提出物、口頭課題、授業態度	知 古典文法(敬語)を理解することができたか。	〇〇〇	14
		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めることができる。		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めることができたか。		
		学 語彙を豊かにし、表現上の特色を捉えながら学習することができる。		態 語彙を豊かにし、表現上の特色について考える活動を通して、自己の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。		
3 学期	問題演習	知 古典文法(敬語)を理解することができる。	小テスト、入試問題演習、提出物、口頭課題、授業態度	知 古典文法(敬語)を理解することができたか。	〇〇〇	14
		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めることができる。		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めることができたか。		
		学 語彙を豊かにし、表現上の特色を捉えながら学習することができる。		態 語彙を豊かにし、表現上の特色について考える活動を通して、自己の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。		
	期末考査				〇〇	
	問題演習	知 古典文法(敬語)を理解することができる。	質問応答	知 古典文法(敬語)を理解することができたか。	〇〇〇	15
		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めるこ		思 古典の世界と現代を比較して、人間・社会・自然について読解を深めるこ		
		学 語彙を豊かにし、表現上の特色を捉えながら学習することができる。		態 語彙を豊かにし、表現上の特色について考える活動を通して、自己の学習への見通しを立て課題に取り組むことができたか。		
	期末考査					

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		国語総合					単位数		2単位	
							対象学年		3 学年	
担当者		A 帯								
		櫛野・小西								
教科書										
補助教材										
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。			生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。			言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
科目の目標		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様ななかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	ことばと情報の扱い	知	言葉のはたらきを理解する		・情報の読み取り ・情報の要約 ・情報の探索	知	言葉のはたらきを理解できる		〇〇〇	4
		思	目的に応じて情報を収集する			思	目的に応じて情報を収集できる			
		学	課題に主体的に取り組む			態	課題に主体的に取り組める			
	正確な表現	知	表現の特色について理解する		・マッピングメモの作成 ・紙上ディベート ・推敲の仕方	知	表現の特色について理解できる		〇〇〇	4
		思	伝えたいことを明確にする			思	伝えたいことを明確にできる			
		学	課題に主体的に取り組む			態	課題に主体的に取り組める			
	中間考查								〇〇	
	わかりやすい表現	知	場面に応じた表現について理解する		・さまざまな伝達方法 ・マニュアル作成	知	場面に応じた表現について理解できる		〇〇〇	7
		思	読み手の同意を得られる工夫をする			思	読み手の同意を得られる工夫ができる			
		学	課題に主体的に取り組む			態	課題に主体的に取り組める			
	自分史を書く	知	手段に応じた表現を使い分ける		・年表の作成 ・自分史の作成	知	手段に応じた表現を使い分けることができる		〇〇〇	7
		思	事象を的確に表現する			思	事象を的確に表現できる			
		学	課題に主体的に取り組む			態	課題に主体的に取り組める			
	期末考查								〇〇	

2 学期	声のレッスン	知 話し言葉の特徴を理解する	・発音、発声 ・スピーチ	知 話し言葉の特徴を理解できる	〇〇〇	3
		思 自分の思いが伝わる工夫をする		思 自分の思いを伝わる工夫ができる		
		学 課題に主体的に取り組む		態 課題に主体的に取り組める		
	プレゼンテーション	知 自分の思いを伝えるための語彙を増やす	・パワーポイントの作成 ・プレゼンテーション	知 自分の思いを伝えるための語彙を増やせる	〇〇〇	3
		思 自分の考えが伝わる工夫をする		思 自分の考えが伝わる工夫ができる		
		学 課題に主体的に取り組む		態 課題に主体的に取り組める		
	中間考査				〇〇	
	ディベート	知 伝え合う目的に応じた表現をする	・資料の検索、整理 ・ディベート	知 伝え合う目的に応じた表現ができる	〇〇〇	15
		思 伝え合う内容を検討する		思 伝え合う内容を検討できる		
		学 課題に主体的に取り組む		態 課題に主体的に取り組める		
	本を作る	知 読書の意義を理解する	・本のデザイン ・本の制作	知 読書の意義を理解できる	〇〇〇	15
		思 読み手を意識した工夫をする		思 読み手を意識した工夫ができる		
		学 課題に主体的に取り組む		態 課題に主体的に取り組める		
	期末考査				〇〇	
3 学期	イベントをプロデュース	知 企画の方法を理解する	・シンポジウムの準備 ・シンポジウム	知 企画の方法を理解できる	〇〇〇	12
		思 交渉の仕方を工夫し実践する		思 交渉の仕方を工夫し実践できる		
		学 課題に主体的に取り組む		態 課題に主体的に取り組める		
		知		知	〇〇〇	0
		思		思		
		学		態		
	期末考査				〇〇	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		小論文演習					単位数		2 単位			
							対象学年		3 学年			
担当者	B 帯											
	櫛野											
教科書												
補助教材		「小論文を書くための基礎知識BOX」「マスタードリル」										
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等				
教科の目標		実社会に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。			実社会における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。			言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
科目の目標		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様なかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数		
1 学期	表現の基礎	知	話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解することができる。			・ 文体の統一 ・ 話し言葉と書き言葉の使い分け ・ 自己と他者を見つめて表現する		知	話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解することができたか。		〇〇〇	8
		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。					思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現していたか。			
		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしている。					学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしていたか。			
		知						知				
		思						思				
		学						態				
	中間考査											
	表現の基礎	知	小論文に関する基本的事項を理解することができる。			・ 要約 ・ 文章構成		知			〇〇〇	16
		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。					思				
		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしている。					態				
		知						知				
		思						思				
		学						態				
	期末考査											

2 学期	表現の実践	知	小論文に関する基本的事項を理解することができる。	・データや図表の読み取り ・文章の推敲	知	小論文に関する基本的事項を理解することができたか。	〇〇〇	14
		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現していたか。		
		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしている。		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしていたか。		
		知			知			
		思			思			
		学			態			
	中間考査							
	表現の実践	知	小論文に関する基本的事項を理解することができる。	・入試小論文の実践	知	小論文に関する基本的事項を理解することができたか。	〇〇〇	24
		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現していたか。		
		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしている。		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしていたか。		
		知			知			
		思			思			
		学			態			
	期末考査							
3 学期	表現の実践	知	小論文に関する基本的事項を理解することができる。	・入試小論文の実践	知	小論文に関する基本的事項を理解することができたか。	〇〇〇	8
		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。		思	「書くこと」を中心として、自身の考えを表現していたか。		
		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしている。		学	言葉がもつ価値への認識を深めながら、言葉による見方・考え方をういて、他者と関わろうとしていたか。		
		知			知			
		思			思			
		学			態			
	期末考査							

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度